**平成30年度　第1回練馬区立生涯学習センター運営懇談会　会議録（概要）**

1. 日時　平成30年8月24日（金）　午後3時～4時30分
2. 場所　生涯学習センター　第1教室
3. 出席者　長田委員、井藤委員、川井委員、中島委員、岡本委員、長富委員、伊藤委員、

　　　　鈴木委員、山本委員、菊地委員、押田委員(社会教育主事)

（練馬区）地域文化部長、文化・生涯学習課長

（事務局）生涯学習センター所長、副所長

1. 欠席者　田村委員
2. 傍聴者　なし
3. 次第
4. 挨拶
5. 委員紹介
6. 文化・生涯学習課事務局職員紹介
7. 正副座長選出

(5)　議題

　　①　平成29年度事業結果報告について

　　②　平成30年度事業結果報告（4月～7月）および事業予定について

　　③　主な事業ごとの目標指数について

(6)　その他

1. 配布資料

　 資料１　平成30年・31年度練馬区立生涯学習センター運営懇談会委員名簿

　 資料2　練馬区立生涯学習センター運営懇談会設置要綱

資料3　平成29年度事業結果報告

　 資料4　平成29年度施設利用実績

資料5　平成30年度事業結果中間報告および事業予定

資料6　主な事業ごとの目標指数について

　 資料7　工事予定のお知らせ

1. 会議の概要

(1)　挨拶

小金井　靖　地域文化部長挨拶

 (2)　委員紹介

　　　　 委員自己紹介

(3)　文化・生涯学習課事務局職員紹介

　　　　 職員紹介

1. 正副座長選出

<所長>　生涯学習センター運営懇談会につきまして、練馬区立生涯学習センター運営

懇談会設置要綱に基づき説明いたします。（要綱の説明）

続いて座長の選出になります。運営懇談会設置要綱第３条第２項に「座長は委員の互選により選出する」という規定がございます。どなたかご推薦いただけますでしょうか。

<委員>　いろいろとご存じで、今までも上手く進行をしていただいたので、川井委員

　にお願いできたらと思いますが、みなさんはいかがでしょうか。

　　<所長>　只今、川井委員をご推薦の声がありました。皆様いかがでしょうか。

(拍手)

　　<所長>　皆様から拍手をいただきましたので、川井委員に生涯学習センター運営懇談

会座長をお願いいたします。

次に運営懇談会設置要綱第３条第２項の規定により、副座長は座長が指名することになっておりますので、副座長をご指名いただきたいと思います。

<座長>　岡本委員にはサークル作品展をはじめ、責任者として活躍され、生涯学習センター運営懇談会でも長くご意見をいただき、また座長をサポートしていただきました。是非ご一緒にこの懇談会の運営をできたらと思っております。

いかがでしょうか？

（拍手）

<所長>　岡本委員、副座長をよろしくお願いします。それでは座長、副座長が決まりましたので、お二人から一言ずつ就任のご挨拶をお願いしたいと思います。

<座長>　委員名簿を拝見し、ご立派な方の中で、私に座長が務まるかなと思いがあります。高齢化社会を迎え、生涯学習は大事な部分だと思いますので、皆さんにはそれぞれのお立場でご意見をたくさんいただいて、ここから発信したことが練馬区全体に伝わっていきますので、ご協力をよろしくお願いします。

<副座長>　副座長という大役を仰せつかりましたが、座長、副座長という立場を超えて皆さんと同じ立場で忌憚のない意見を出して、この議論に参加し、生涯学習センターのあるべき姿というものを皆さんと自由闊達に議論できたらと思っております。

よろしくお願いします。

<所長>　それでは進行を座長にお譲りしたいと思います。よろしくお願いします。

<座長>　議事に入る前に、本日の出席委員数の報告を事務局からお願いします。

<副所長>　本日の出席委員は11名で、1名欠席です。なお、傍聴の方はいらっしゃいません。

　　<座長>　議事に入りたいと思います。事務局から資料に沿って説明をお願いします。

　(5)　議題

①　平成29年度事業結果報告

所長から資料３に基づき説明（内容省略）

　平成29年度施設利用実績

所長から資料４に基づき説明（内容省略）

1. についての意見、質問等)

　　<座長>　皆さんには、生涯学習センターをご利用いただいているところで、ご意見をいただきたいと思います。

　　<委員>　武蔵大学特別履修生制度は、定員に対して応募者が物足りない感じがします。この事業についてお考えがあれば伺いたいと思います。

　　<所長>　平成28年度から対象をボランティア経験者または、練馬Ｅｎカレッジ履修生または卒業生と絞り込みをさせていただいた経緯があります。地域で活動しているということを明確にして募集しています。今後、対象者の方にはＰＲをしてきたいと思っています。

　　<委員>　事業についてご説明いただいたが、たくさんある事業の申込方法がわからないのではないかと思っています。ＰＲの余地があるように思います。

　　<所長>　広報活動につきましては、区報、ホームページ、学びと文化の情報サイト「あ・そ・ぶサイト」のほか、ちらし、ポスターを活用しておりますが、まだ工夫の余地があると思いますので、ご意見を踏まえ検討して参ります。

　　<座長>　ちらしを配ったり、声掛けしたり、委員の皆さんも事業のＰＲに協力できる範囲で協力し合っていけたらと思います。

　　<副座長>　生涯学習センターの事業は、人材育成、団体支援、情報発信、施設管理、その他とあると思います。そういう単位で報告書をまとめたほうが、森を見ることができるのではないかと思います。報告書のアレンジの仕方を変えると見方が変わってくるのではないかと思います。

　　<所長>　ご意見をありがとうございます。今後検討していきたいと思います。

②　平成30年度事業結果中間報告および事業予定について

所長から資料５に基づき説明（内容省略）

1. についての意見、質問等)

　　<座長>　ご意見をいただきたいと思います。

　　<委員>　練馬Ｅｎカレッジ地域講座が、区内の違う施設でも同じ内容の講座が受けられるといいのではと思いました。

　　　　文化イベントについて、区報を見ても細かすぎてわかりずらいというところもあり、ＰＲについて皆さんのご意見もいただき、いい案が出せたらいいと思います。

　　　　区民文化祭を行っている１８団体の文化団体協議会に加盟するには、どうしたらいいのか教えてください。

　　<所長>　１点目のご質問ですが、今年度からオープンキャンパスとして実施しており、いろいろなところで、受講できるようにというご意見について検討して参ります。

　　　　２点目です。今後のＰＲについては、サイトの充実もありますが、パソコンを使われない方もいらっしゃり、窓口でのご案内を工夫し、必要な情報が得られる窓口づくりに改善して参りたいと考えております。

　　　　３点目です。文化団体協議会の１８連盟は、活動分野の各団体、会派の分野を超えて、一つの組織として加盟いただいています。新規のご相談があった場合には、文化団体協議会の議決を経て加盟をしていただいています。

　<委員>　公民館が生涯学習センターになり、かなり変わったとの実感があります。若い人から高齢者までインターネットを使う時代の情報発信のほか、口コミや友達から誘われるなどのなかで、ＰＲのちらしが活用できたらいいのではと思います。社会の助け合いの仕組みづくりが十分ではないなかで、生涯学習センターの情報発信が意識改革のきっかけになれたらいいのにと思っていますので、期待したいところです。

<所長>　ご意見を参考にしながらＰＲをして参りたいと思います。

<委員>　区民文化祭は63回を数えます。皆さんのお力によるもので、まさに継続こそ力なりだと思います。活動がますます盛んになればいいと思います。

<座長>　情報発信については、これでいいという限度はないと思います。紙の情報、パソコンでとそれぞれ手段はあります。区報を見ている方は多く、そのウエイトは重いと思います。ほかになければ次に進みたいと思います。

　③　主な事業の目標指数について

所長から資料６に基づき説明（内容省略）

　　<座長>　事務局からの説明は以上になります。生涯学習センターの事業展開に沿って皆さんとご一緒に協力してきたいと思います。今の説明以外のご意見でも結構です。

　　<委員>　高齢化の世の中になっており、私の会でも後継者の問題を含めて活動運営をしていくことに苦労しております。

　<委員>　施設も古くなり、手狭となってきたところで改築という言葉を聞きますが、施設利用者も話し合いの場に入れていただいたらと思いました。皆さんが使いやすいお部屋をつくっていただけたらと思います。

　<座長>　改築に関しては、このあと事務局からお話いただきます。

　<委員>　広報についてお話がありました。区報は、他の区のものを見てもほぼ同じだと思います。オリンピック、明治150年とエポックがありますが、トレンドにのっているかどうかの差はあると思います。

施設利用の点では、団塊の世代が退職し、図書館と生涯学習センターの利用者が増え、需要は増していると思います。

　　　　区役所の１Fにボランティア団体のちらしがあり、語学のものを見かけました。我々の世代では、外国語を勉強しておけばよかったと思っている人も多く、そのような事業を生涯学習センターで取り込むことはできなのかと思いました。オリンピックに向けて、通訳、翻訳の需要もあると思います。そのような観点から事業が広げられるかと思いました。

　<座長>　皆さんからいろいろとご意見をいだだきありがとうございました。ここで、部長からお話をいただければと思います。

　<部長>　語学の事業について、この懇談会の直前の別の課の会議で、議論をしてきたところです。語学活動は、生涯学習センターのサークルとして多くの団体にご利用いただいているほか、生涯学習センター以外の施設で生涯学習団体として、語学を自主的に勉強されている団体もあります。一方、地域振興課で語学事業を行っておりますが、位置づけは多文化共生となっています。語学事業と生涯学習センターの生涯学習事業、各サークルとどのように連携していくかは課題であるとちょうど話し合ってきたところです。委員からもまさしく同様のご意見をいただき、今後考えて参りたいと思います。

　<座長>　オリンピックを2年後に控え、語学を習われている方の活動をどうつなげていくか、習ったものを生かせるように方向性を示していただけたらありがたいと思います。

　<部長>　近々には、東京都の都市ボランティア募集が開始されます。語学が堪能な方のボランティアを含めて数万人規模で募集する予定です。そこで、ご活躍いただけるようにとも思っています。

(6) その他

工事予定について

　　所長から参考７に基づき説明（内容省略）

<所長>　さきほど、施設改修について委員からご意見をいただきました。区の公共施設総合管理計画で、生涯学習センターの設備の老朽化が進んでいるなかで、大規模改修に着手する旨の方向性をお示ししております。詳細については、まだ確定しておりませんが、平成32年度から34年度の間で、工事期間中には休館せざるを得ない期間が見込まれておりますので、現時点でのご案内とさせていただきます。 前回この場でお話させていただきましたが、教室の壁を壊しての改修ではなく、空調、音響などの設備面の更新を中心とした改修を予定しております。そのようななかで、できるだけ、皆様のご意見を反映できるようにと考えておりますが、ご了解をいただきたいと存じます。

<座長>　ようやく改修の実現が見えてきたようです。生涯学習センターを活動の場として誇れる施設にしていきたいと思います。そして、皆さんにはＰＲしていただき、さらに活動盛んなに施設にしていきたいと思います。

<副座長>　最近、サークルの方からメンバーが減っていくという話を聞きます。以前は高齢の方が辞めても、新しい方が入ってきたが、最近は入ってこないと。これは問題だと思っています。

　　 先ほどの報告で、生涯学習センターで目標を設定していただきましたが、これは我々の目標だと思います。縁ジョイ倶楽部に参加された方をどれだけ、自分たちのサークルに取り込めるか。これは、センターが環境づくりを行ってくれるなかで、受講生を上手く取り込むことは我々の役割だと思います。このような機会を利用して、我々自身が新しいメンバーを獲得していこうという気持ちをもって講座に絡んでいけたらと思います。どうぞよろしくお願いします。

<座長>　他にご意見はございませんでしょうか。それでは、委員の皆さんには長時間にわたりありがとうございました。有意義な会となりました、また、どうぞよろしくお願いします。